

誰にでもできる！社内コミュニケーションツール 「Slack」「Googleスプレッドシート」の導入

シモダ産業株式会社

柏崎市松波2丁目6-43

資本金：9,600万円 社員数：192名

課題

シモダ産業株式会社では部署間のコミュニケーションの多くが電話とFAXに頼っており、さらに長年担当者が変わっていないことから独自のルールが成り立っている。必要以上に時間がかかることや、将来的に業務を引き継いでいく上で課題を感じている。

デジタル投資の取組

コミュニケーションツール「Slack」とデータ共有ツール「Googleスプレッドシート」を導入し、各部署のコミュニケーション円滑化を狙う。

人材育成の取組

今回導入するAIツールの動作環境構築や設定、実行などを学習する。

取組の結果

各ツールを導入したことにより、業務時間を大幅に削減することができた。また、各ツールの運用方法を担当者独自ではなく社内の共通ルールとして設定したことにより、事業継続におけるリスクを低減するとともに、BCP的な観点での社員意識を向上させることができた。

今後の発展性

社内の基幹システム更新に併せて、製品在庫の遠隔管理や、製品と製品情報の紐づけによる品質管理を行うことが可能となるよう実装し、顧客満足度のさらなる向上を狙う。

工程管理システム導入による作業予定の見える化作業

株式会社北星製作所

柏崎市大字軽井川3017番地

資本金：2,800万円 社員数：62名

課題

近年は受注後に納期が変更となるケースが多く、各工程のスケジュール調整を余儀なくされるが、作業指示書が紙媒体で共有されていることから、変更納期の共有が遅れ、スケジュール調整の対応も遅くなってしまう。また、納期変更による業務量の変化が不明瞭であるため、工程完了の目途も立てづらい。

デジタル投資の取組

既存の基幹システムに連携させる工程管理システムを導入し、作業予定の更新作業を自動化・見える化する。

人材育成の取組

今回導入する工程管理システムの運用に関する学習を行う。

取組の結果

工程管理システムを導入したことにより、納期変更によるスケジュール調整に要していた時間を大幅に削減することができ、本来業務に充てることができた。また、変更後の納期が明確化されることで作業順位も決定しやすく、従業員が迷うことなく業務を行うことができるようになった。

今後の発展性

現在は機械加工部門のみで運用されているが、検証を重ねながら他部門への水平展開を図り、連携させることで工場全体の作業効率化を狙う。